

1. 次の角を，度数は弧度に，弧度は度数に，それぞれ書き直せ。
- (1) 60°

(2) 90°

(3) 150°

(4) 270°

(5) 720°
- (6) $\frac{3}{4}\pi$

(7) $\frac{5}{2}\pi$

(8) $\frac{3}{8}\pi$

(9) $\frac{\pi}{12}$

(10) 3π

2. θ が次の値のとき， $\sin \theta$ ， $\cos \theta$ ， $\tan \theta$ の値を求めよ。
- (1) $\frac{5}{4}\pi$

(2) $-\frac{4}{3}\pi$

(3) $\frac{23}{6}\pi$

(4) $-\frac{3}{2}\pi$

3. 次のような θ の動径は，第何象限にあるか。
- (1) $\sin \theta > 0$ かつ $\cos \theta < 0$

(2) $\sin \theta < 0$ かつ $\tan \theta < 0$

(3) $\sin \theta \cos \theta > 0$

4. $\sin \theta$ ， $\cos \theta$ ， $\tan \theta$ のうち 1 つが次のように与えられたとき，他の 2 つの値を求めよ。ただし，[]内は θ の動径が属する象限を表す。
- (1) $\sin \theta = \frac{3}{5}$ [第 2 象限]

(2) $\sin \theta = -\frac{12}{13}$ [第 3 象限]

(3) $\cos \theta = \frac{4}{5}$ [第 1 象限]

(4) $\tan \theta = -\sqrt{3}$ [第 4 象限]

5. (1) $\sin \theta = -\frac{3}{4}$ のとき， $\cos \theta$ と $\tan \theta$ の値を求めよ。
- (2) $\tan \theta = 3$ のとき， $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値を求めよ。

6. (1) $\tan \theta = -\frac{1}{2}$ ($\pi < \theta < 2\pi$) のとき， $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値を求めよ。
- (2) $\cos \theta = -\frac{1}{3}$ のとき， $\sin \theta$ と $\tan \theta$ の値を求めよ。

7. $\sin \theta + \cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき、次の式の値を求めよ。

- (1) $\sin \theta \cos \theta$
- (2) $\sin^3 \theta + \cos^3 \theta$

8. $\sin \theta \cos \theta = -\frac{1}{4}$ のとき、次の式の値を求めよ。ただし、 $\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ とする。

- (1) $\sin \theta - \cos \theta$
- (2) $\sin \theta + \cos \theta$
- (3) $\sin \theta, \cos \theta$

9. (1) $\tan \theta = \frac{1}{3}$ のとき、 $(\sin \theta + \cos \theta)^2$ の値を求めよ。

(2) $\tan \theta = 2$ のとき、 $\frac{1}{1 + \sin \theta} + \frac{1}{1 - \sin \theta}$ の値を求めよ。

10. $\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

- (1) $\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta}$
- (2) $\sin \theta + \cos \theta$
- (3) $\sin^4 \theta - \cos^4 \theta$

11. $\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{2}$ のとき、 $\sin \theta + \cos \theta$ の値を求めよ。ただし、 $\pi < \theta < \frac{3}{2}\pi$ とする。

12. θ の動径が第 2 象限にあり、 $\tan \theta = -3$ のとき、 $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値を求めよ。

1. 次の角を、度数は弧度に、弧度は度数に、それぞれ書き直せ。

- (1) 60° (2) 90° (3) 150° (4) 270° (5) 720°
- (6) $\frac{3}{4}\pi$ (7) $\frac{5}{2}\pi$ (8) $\frac{3}{8}\pi$ (9) $\frac{\pi}{12}$ (10) 3π

【解答】 (1) $\frac{\pi}{3}$ (2) $\frac{\pi}{2}$ (3) $\frac{5}{6}\pi$ (4) $\frac{3}{2}\pi$ (5) 4π (6) 135° (7) 450°
(8) 67.5° (9) 15° (10) 540°

【解説】

- (1) 60°は $60 \times \frac{\pi}{180} = \frac{\pi}{3}$ (ラジアン) (2) 90°は $90 \times \frac{\pi}{180} = \frac{\pi}{2}$ (ラジアン)
- (3) 150°は $150 \times \frac{\pi}{180} = \frac{5}{6}\pi$ (ラジアン) (4) 270°は $270 \times \frac{\pi}{180} = \frac{3}{2}\pi$ (ラジアン)
- (5) 720°は $720 \times \frac{\pi}{180} = 4\pi$ (ラジアン) (6) $\frac{3}{4}\pi$ (ラジアン)は $\frac{3}{4}\pi \times \left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ = 135^\circ$
- (7) $\frac{5}{2}\pi$ (ラジアン)は $\frac{5}{2}\pi \times \left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ = 450^\circ$
- (8) $\frac{3}{8}\pi$ (ラジアン)は $\frac{3}{8}\pi \times \left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ = 67.5^\circ$
- (9) $\frac{\pi}{12}$ (ラジアン)は $\frac{\pi}{12} \times \left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ = 15^\circ$
- (10) 3π (ラジアン)は $3\pi \times \left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ = 540^\circ$

2. θ が次の値のとき、 $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ の値を求めよ。

- (1) $\frac{5}{4}\pi$ (2) $-\frac{4}{3}\pi$ (3) $\frac{23}{6}\pi$ (4) $-\frac{3}{2}\pi$

【解答】 $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ の順に

(1) $-\frac{1}{\sqrt{2}}$ 、 $-\frac{1}{\sqrt{2}}$ 、1 (2) $\frac{\sqrt{3}}{2}$ 、 $-\frac{1}{2}$ 、 $-\sqrt{3}$

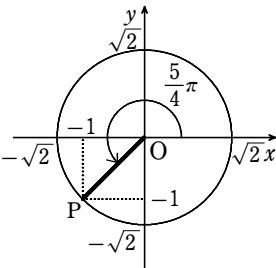
(3) $-\frac{1}{2}$ 、 $\frac{\sqrt{3}}{2}$ 、 $-\frac{1}{\sqrt{3}}$ (4) 1、0、定義されない

【解説】

角を表す動径と円 $x^2 + y^2 = r^2$ の交点を P とする。

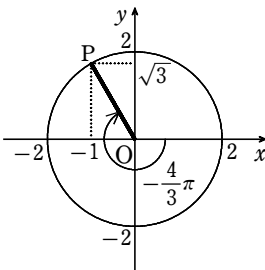
- (1) 右の図で円の半径が $r = \sqrt{2}$ のとき、P の座標は
(-1, -1)

よって $\sin \frac{5}{4}\pi = \frac{-1}{\sqrt{2}} = -\frac{1}{\sqrt{2}}$ 、
 $\cos \frac{5}{4}\pi = \frac{-1}{\sqrt{2}} = -\frac{1}{\sqrt{2}}$ 、
 $\tan \frac{5}{4}\pi = \frac{-1}{-1} = 1$



- (2) 右の図で円の半径が $r = 2$ のとき、P の座標は
(-1, $\sqrt{3}$)

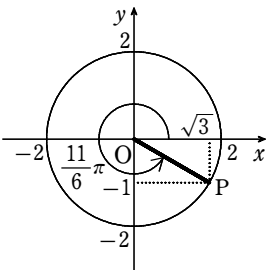
よって $\sin\left(-\frac{4}{3}\pi\right) = \frac{\sqrt{3}}{2}$ 、
 $\cos\left(-\frac{4}{3}\pi\right) = \frac{-1}{2} = -\frac{1}{2}$ 、
 $\tan\left(-\frac{4}{3}\pi\right) = \frac{\sqrt{3}}{-1} = -\sqrt{3}$



- (3) $\frac{23}{6}\pi = \frac{11}{6}\pi + 2\pi$ であるから、 $\frac{23}{6}\pi$ を表す動径
と $\frac{11}{6}\pi$ を表す動径は一致する。

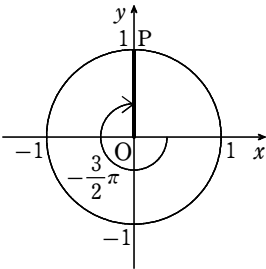
右の図で円の半径が $r = 2$ のとき、P の座標は

($\sqrt{3}$, -1)
よって $\sin \frac{11}{6}\pi = \frac{-1}{2} = -\frac{1}{2}$ 、
 $\cos \frac{11}{6}\pi = \frac{\sqrt{3}}{2}$ 、
 $\tan \frac{11}{6}\pi = \frac{-1}{\sqrt{3}} = -\frac{1}{\sqrt{3}}$



- (4) 右の図で円の半径が $r = 1$ のとき、P の座標は
(0, 1)

よって $\sin\left(-\frac{3}{2}\pi\right) = \frac{1}{1} = 1$ 、
 $\cos\left(-\frac{3}{2}\pi\right) = \frac{0}{1} = 0$ 、
 $\tan\left(-\frac{3}{2}\pi\right)$ は定義されない



3. 次のような θ の動径は、第何象限にあるか。

- (1) $\sin \theta > 0$ かつ $\cos \theta < 0$ (2) $\sin \theta < 0$ かつ $\tan \theta < 0$
- (3) $\sin \theta \cos \theta > 0$

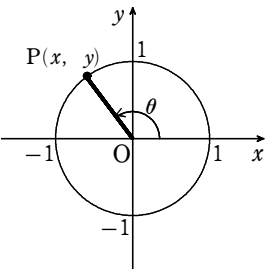
【解答】 (1) 第2象限 (2) 第4象限 (3) 第1象限または第3象限

【解説】

θ を表す動径と単位円 $x^2 + y^2 = 1$ の交点を P(x , y) とす

ると $\sin \theta = y$ 、 $\cos \theta = x$ 、 $\tan \theta = \frac{y}{x}$

- (1) $\sin \theta > 0$ かつ $\cos \theta < 0$ から $y > 0$ かつ $x < 0$
よって、P は第2象限にある。
したがって、 θ の動径は第2象限にある。



- (2) $\sin \theta < 0$ かつ $\tan \theta < 0$ から $y < 0$ かつ $\frac{y}{x} < 0$

ゆえに $x > 0$ かつ $y < 0$
よって、P は第4象限にある。
したがって、 θ の動径は第4象限にある。

- (3) $\sin \theta \cos \theta > 0$ から $xy > 0$
ゆえに ($x > 0$ かつ $y > 0$) または ($x < 0$ かつ $y < 0$)
よって、P は第1象限または第3象限にある。
したがって、 θ の動径は第1象限または第3象限にある。

4. $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ のうち1つが次のように与えられたとき、他の2つの値を求めよ。ただし、[]内は θ の動径が属する象限を表す。

- (1) $\sin \theta = \frac{3}{5}$ [第2象限] (2) $\sin \theta = -\frac{12}{13}$ [第3象限]
- (3) $\cos \theta = \frac{4}{5}$ [第1象限] (4) $\tan \theta = -\sqrt{3}$ [第4象限]

【解答】 (1) $\cos \theta = -\frac{4}{5}$ 、 $\tan \theta = -\frac{3}{4}$ (2) $\cos \theta = -\frac{5}{13}$ 、 $\tan \theta = \frac{12}{5}$
(3) $\sin \theta = \frac{3}{5}$ 、 $\tan \theta = \frac{3}{4}$ (4) $\sin \theta = -\frac{\sqrt{3}}{2}$ 、 $\cos \theta = \frac{1}{2}$

【解説】

- (1) θ の動径が第2象限にあるから $\cos \theta < 0$

よって $\cos \theta = -\sqrt{1 - \sin^2 \theta} = -\sqrt{1 - \left(\frac{3}{5}\right)^2} = -\frac{4}{5}$ 、

また $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \frac{3}{5} \div \left(-\frac{4}{5}\right) = -\frac{3}{4}$

- (2) θ の動径が第3象限にあるから $\cos \theta < 0$

よって $\cos \theta = -\sqrt{1 - \sin^2 \theta} = -\sqrt{1 - \left(-\frac{12}{13}\right)^2} = -\frac{5}{13}$ 、

また $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \left(-\frac{12}{13}\right) \div \left(-\frac{5}{13}\right) = \frac{12}{5}$

- (3) θ の動径が第1象限にあるから $\sin \theta > 0$

よって $\sin \theta = \sqrt{1 - \cos^2 \theta} = \sqrt{1 - \left(\frac{4}{5}\right)^2} = \frac{3}{5}$ 、

また $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \frac{3}{5} \div \frac{4}{5} = \frac{3}{4}$

(4) $\cos^2 \theta = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} = \frac{1}{1 + (-\sqrt{3})^2} = \frac{1}{4}$

θ の動径が第4象限にあるから $\cos \theta > 0$

よって $\cos \theta = \sqrt{\frac{1}{4}} = \frac{1}{2}$

また $\sin \theta = \cos \theta \tan \theta = \frac{1}{2} \cdot (-\sqrt{3}) = -\frac{\sqrt{3}}{2}$

5. (1) $\sin \theta = -\frac{3}{4}$ のとき、 $\cos \theta$ と $\tan \theta$ の値を求めよ。
- (2) $\tan \theta = 3$ のとき、 $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値を求めよ。

【解答】 (1) $\cos \theta = \frac{\sqrt{7}}{4}$, $\tan \theta = -\frac{3\sqrt{7}}{7}$ または $\cos \theta = -\frac{\sqrt{7}}{4}$, $\tan \theta = \frac{3\sqrt{7}}{7}$

(2) $\sin \theta = \frac{3\sqrt{10}}{10}$, $\cos \theta = \frac{\sqrt{10}}{10}$ または $\sin \theta = -\frac{3\sqrt{10}}{10}$, $\cos \theta = -\frac{\sqrt{10}}{10}$

【解説】

(1) $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ から

$$\cos \theta = \pm \sqrt{1 - \sin^2 \theta} = \pm \sqrt{1 - \left(-\frac{3}{4}\right)^2} = \pm \frac{\sqrt{7}}{4}$$

$\cos \theta = \frac{\sqrt{7}}{4}$ のとき

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \left(-\frac{3}{4}\right) \div \frac{\sqrt{7}}{4} = -\frac{3}{\sqrt{7}} = -\frac{3\sqrt{7}}{7}$$

$\cos \theta = -\frac{\sqrt{7}}{4}$ のとき

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \left(-\frac{3}{4}\right) \div \left(-\frac{\sqrt{7}}{4}\right) = \frac{3}{\sqrt{7}} = \frac{3\sqrt{7}}{7}$$

(2) $1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$ から

$$\cos \theta = \pm \sqrt{\frac{1}{1 + \tan^2 \theta}} = \pm \sqrt{\frac{1}{1 + 3^2}} = \pm \frac{1}{\sqrt{10}} = \pm \frac{\sqrt{10}}{10}$$

$\cos \theta = \frac{\sqrt{10}}{10}$ のとき

$$\sin \theta = \cos \theta \tan \theta = \frac{\sqrt{10}}{10} \cdot 3 = \frac{3\sqrt{10}}{10}$$

$\cos \theta = -\frac{\sqrt{10}}{10}$ のとき

$$\sin \theta = \cos \theta \tan \theta = \left(-\frac{\sqrt{10}}{10}\right) \cdot 3 = -\frac{3\sqrt{10}}{10}$$

6. (1) $\tan \theta = -\frac{1}{2}$ ($\pi < \theta < 2\pi$) のとき、 $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値を求めよ。
- (2) $\cos \theta = -\frac{1}{3}$ のとき、 $\sin \theta$ と $\tan \theta$ の値を求めよ。

【解答】 (1) $\sin \theta = -\frac{\sqrt{5}}{5}$, $\cos \theta = \frac{2\sqrt{5}}{5}$

(2) $\sin \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$, $\tan \theta = -2\sqrt{2}$ または $\sin \theta = -\frac{2\sqrt{2}}{3}$, $\tan \theta = 2\sqrt{2}$

【解説】

(1) $\tan \theta < 0$ であるから、 θ の動径は第 2 象限または第 4 象限にある。
これと $\pi < \theta < 2\pi$ の条件より、 θ の動径は第 4 象限にあるから
 $\sin \theta < 0$, $\cos \theta > 0$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} = \frac{1}{1 + \left(-\frac{1}{2}\right)^2} = \frac{4}{5}$$
 から
$$\cos \theta = \sqrt{\frac{4}{5}} = \frac{2}{\sqrt{5}} = \frac{2\sqrt{5}}{5}$$

また $\sin \theta = \cos \theta \tan \theta = \frac{2\sqrt{5}}{5} \cdot \left(-\frac{1}{2}\right) = -\frac{\sqrt{5}}{5}$

(2) $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ から

$$\sin \theta = \pm \sqrt{1 - \cos^2 \theta} = \pm \sqrt{1 - \left(-\frac{1}{3}\right)^2} = \pm \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

$$\sin \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3} \text{ のとき} \quad \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \frac{2\sqrt{2}}{3} \div \left(-\frac{1}{3}\right) = -2\sqrt{2}$$

$$\sin \theta = -\frac{2\sqrt{2}}{3} \text{ のとき} \quad \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \left(-\frac{2\sqrt{2}}{3}\right) \div \left(-\frac{1}{3}\right) = 2\sqrt{2}$$

7. $\sin \theta + \cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき、次の式の値を求めよ。

(1) $\sin \theta \cos \theta$ (2) $\sin^3 \theta + \cos^3 \theta$

【解答】 (1) $-\frac{1}{8}$ (2) $\frac{9\sqrt{3}}{16}$

【解説】

(1) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ の両辺を平方して

$$\sin^2 \theta + 2\sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = \frac{3}{4}$$

ゆえに $1 + 2\sin \theta \cos \theta = \frac{3}{4}$

よって $\sin \theta \cos \theta = -\frac{1}{8}$

(2) $\sin^3 \theta + \cos^3 \theta = (\sin \theta + \cos \theta) \times (\sin^2 \theta - \sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta)$

$$= (\sin \theta + \cos \theta)(1 - \sin \theta \cos \theta) = \frac{\sqrt{3}}{2} \left\{1 - \left(-\frac{1}{8}\right)\right\} = \frac{9\sqrt{3}}{16}$$

8. $\sin \theta \cos \theta = -\frac{1}{4}$ のとき、次の式の値を求めよ。ただし、 $\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ とする。

(1) $\sin \theta - \cos \theta$ (2) $\sin \theta + \cos \theta$ (3) $\sin \theta$, $\cos \theta$

【解答】 (1) $\frac{\sqrt{6}}{2}$ (2) $\pm \frac{\sqrt{2}}{2}$

(3) $\sin \theta = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$, $\cos \theta = -\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$ または

$$\sin \theta = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}, \cos \theta = -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

【解説】

$\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ であるから $\sin \theta > 0$, $\cos \theta < 0$

(1) $(\sin \theta - \cos \theta)^2 = \sin^2 \theta - 2\sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = 1 - 2\sin \theta \cos \theta$

$$= 1 - 2\left(-\frac{1}{4}\right) = \frac{3}{2}$$

$\sin \theta > 0$, $\cos \theta < 0$ より、 $\sin \theta - \cos \theta > 0$ であるから

$$\sin \theta - \cos \theta = \frac{\sqrt{6}}{2} \quad \cdots \cdots \text{①}$$

(2) $(\sin \theta + \cos \theta)^2 = \sin^2 \theta + 2\sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = 1 + 2\sin \theta \cos \theta$

$$= 1 + 2\left(-\frac{1}{4}\right) = \frac{1}{2}$$

よって $\sin \theta + \cos \theta = \pm \frac{\sqrt{2}}{2}$

(3) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{\sqrt{2}}{2} \quad \cdots \cdots \text{②}$, $\sin \theta + \cos \theta = -\frac{\sqrt{2}}{2} \quad \cdots \cdots \text{③}$ とする。

①, ② を連立して解くと $\sin \theta = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$, $\cos \theta = -\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$

①, ③ を連立して解くと $\sin \theta = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$, $\cos \theta = -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$

9. (1) $\tan \theta = \frac{1}{3}$ のとき、 $(\sin \theta + \cos \theta)^2$ の値を求めよ。

- (2) $\tan \theta = 2$ のとき、 $\frac{1}{1 + \sin \theta} + \frac{1}{1 - \sin \theta}$ の値を求めよ。

【解答】 (1) $\frac{8}{5}$ (2) 10

【解説】

(1) $\frac{1}{\cos^2 \theta} = 1 + \tan^2 \theta = 1 + \left(\frac{1}{3}\right)^2 = \frac{10}{9}$

よって $\cos^2 \theta = \frac{9}{10}$

したがって $(\sin \theta + \cos \theta)^2 = \left\{\cos \theta \left(\frac{\sin \theta}{\cos \theta} + 1\right)\right\}^2 = \cos^2 \theta (\tan \theta + 1)^2$

$$= \frac{9}{10} \left(\frac{1}{3} + 1\right)^2 = \frac{8}{5}$$

(2) $\frac{1}{\cos^2 \theta} = 1 + \tan^2 \theta = 1 + 2^2 = 5$

よって $\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$

したがって $\frac{1}{1 + \sin \theta} + \frac{1}{1 - \sin \theta} = \frac{1 - \sin \theta + 1 + \sin \theta}{1 - \sin^2 \theta} = \frac{2}{\cos^2 \theta}$

$$= 2 \div \frac{1}{5} = 10$$

10. $\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

(1) $\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta}$ (2) $\sin \theta + \cos \theta$ (3) $\sin^4 \theta - \cos^4 \theta$

【解答】 (1) 3 (2) $\pm \frac{\sqrt{15}}{3}$ (3) $\pm \frac{\sqrt{5}}{3}$

【解説】

$\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$ の両辺を平方して $\sin^2 \theta - 2\sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = \frac{1}{3}$

ゆえに $1 - 2\sin \theta \cos \theta = \frac{1}{3}$

よって $\sin \theta \cos \theta = \frac{1}{3}$

(1) $\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta} = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} + \frac{\cos \theta}{\sin \theta} = \frac{\sin^2 \theta + \cos^2 \theta}{\sin \theta \cos \theta} = \frac{1}{\sin \theta \cos \theta}$

$$= 1 \div \frac{1}{3} = 3$$

(2) $(\sin \theta + \cos \theta)^2 = \sin^2 \theta + 2\sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta$

$$= 1 + 2\sin \theta \cos \theta = 1 + 2 \cdot \frac{1}{3} = \frac{5}{3}$$

よって $\sin \theta + \cos \theta = \pm \frac{\sqrt{15}}{3}$

(3) $\sin^4 \theta - \cos^4 \theta = (\sin^2 \theta - \cos^2 \theta)(\sin^2 \theta + \cos^2 \theta) = (\sin^2 \theta - \cos^2 \theta) \cdot 1$

$$= (\sin \theta - \cos \theta)(\sin \theta + \cos \theta)$$

よって、条件と (2) の結果から

$$\sin^4 \theta - \cos^4 \theta = \frac{1}{\sqrt{3}} \cdot \frac{\sqrt{15}}{3} = \frac{\sqrt{5}}{3}$$

または $\sin^4 \theta - \cos^4 \theta = \frac{1}{\sqrt{3}} \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right) = -\frac{\sqrt{5}}{3}$

11. $\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{2}$ のとき、 $\sin \theta + \cos \theta$ の値を求めよ。ただし、 $\pi < \theta < \frac{3}{2}\pi$ とする。

解答

$$-\frac{\sqrt{7}}{2}$$

解説

$\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{2}$ の両辺を平方すると $\sin^2 \theta - 2\sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = \frac{1}{4}$

ゆえに $1 - 2\sin \theta \cos \theta = \frac{1}{4}$ よって $2\sin \theta \cos \theta = \frac{3}{4}$

ゆえに $(\sin \theta + \cos \theta)^2 = 1 + 2\sin \theta \cos \theta = 1 + \frac{3}{4} = \frac{7}{4}$

$\pi < \theta < \frac{3}{2}\pi$ より、 $\sin \theta < 0$ 、 $\cos \theta < 0$ であるから $\sin \theta + \cos \theta < 0$

したがって $\sin \theta + \cos \theta = -\frac{\sqrt{7}}{2}$

12. θ の動径が第2象限にあり、 $\tan \theta = -3$ のとき、 $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値を求めよ。

解答

$$\sin \theta = \frac{3}{\sqrt{10}}, \cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{10}}$$

解説

$\frac{1}{\cos^2 \theta} = 1 + \tan^2 \theta = 1 + (-3)^2 = 10$ ゆえに $\cos^2 \theta = \frac{1}{10}$

θ の動径が第2象限にあるとき $\cos \theta < 0$

よって $\cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{10}}$

また $\sin \theta = \cos \theta \tan \theta = -\frac{1}{\sqrt{10}} \cdot (-3) = \frac{3}{\sqrt{10}}$